媒体名	健康食品新聞	掲載日	2010年1月27日
タイトル	話題の焦点		

話題の焦点

DNA修復作用に評価
「AC-11」健食分野で脚光

ニュートリション・アクト

傷ついたDNAを修復する効果をもたらす米国発の植物抽出物「AC-11」の人気が、わが国の化粧品分野からサプリ分野へ飛び火し、末端商品市場は150億円に迫る勢いをみせている。紫外線ダメージを受けた皮膚細胞等のDNA修復機能やⅢ型コラーゲンの合成促進効果が経口摂取でも期待できることから評価が高まり、サプリメントを扱う通販商品や会員商品、エステ関連に販路が拡大、売上げベースで化粧品市場を追い抜く結果となっている。日本総販売元のニュートリション・アクト（東京都港区、☎03・5475・7313）では、抗酸化素材、抗糖化素材と同様にアンチエイジングのベースになる素材としてを提案しており、一般食品分野の美容系ドリンクなども視野に入れ、市場開拓をしていく考えだ。

AC-11は、カンパ族の伝統的な抽出方法をベースに米国で開発されたキャッツクロー樹皮由来の抽出エキス。アルカロイドを除去し、有効成分のカルボキシアルキルエステル（CAEs）を規格化したベージュ色のパウダー製品である。通常、DNAが損傷すると、その損傷部位は一連の修復酵素系によって元通りに修繕され、有害反応を防ぐが、AC-11は、染色体の中から損傷したDNAを引き出し、修復酵素のもとへと導く酵素活性に関与していると考えられている。こうしたDNA修復に関連するデータ等をもとに、米国FDAで初めて「DNA修復を促進する食品素材」としての機能強調表示を実現。米国の高級化粧品メーカー「エスティローダー」に採用されて以来、ブームに火がつき、わが国でも昨年4月に化粧品・食品分野の末端市場で売上げ100億円を達成している。ここ最近ではロート製薬の新ブランド「エピステーム」シリーズやシュウ・ウエムラの美容系ドリンク「ウナソルコラーゲンプレミアム」にもAC-11採用されるなどサプリ分野の荷動きが活発化しており、化粧品業界から〝逆輸入〟された「化粧品発健食素材」としても脚光を浴びている。

ニュートリション・アクトでは、AC-11の原料売りのほか、OEMでの処方を手がけていく構え。次世代型の抗酸化素材「メロングリソディン」、第3のプロバイオティクス素材「プロピオフィズス」など機能性オリジナル素材とともに販路拡大を図っていく。